

パートナー企業様を紹介!

「任入先様 深掘りレポート!」
第二弾

ミヤコ自動車工業株式会社

広報室 山下 美佳

当社であるSPKのビジネスを支えているのは、部品メーカー各社様の高い技術力と品質力です。「任入先様 深掘りレポート!」では、ものづくりに込められた想いや現場のこだわりを取り上げ、その魅力を発信してまいります。

第二弾にご紹介するのは、ブレーキ専門メーカーとして70年以上にわたり「安全」を支え続けてきた「ミヤコ自動車工業株式会社」様。工場のある茨城県結城市は、ユネスコ無形文化遺産「結城紬」をはじめ、伝統あるものづくりの精神が今も息づく地域です。そうした土地に根ざす結城工場を訪ね、製品・技術・人のこだわりに迫りました。



会社概要

- ・社名…ミヤコ自動車工業株式会社
- ・設立…1949年2月11日
- ・本社所在地…東京都港区
- ・拠点…結城工場(茨城県結城市)
大阪支店(大阪府大阪市)
- ・名古屋営業所(愛知県名古屋市中区)
札幌営業所(北海道札幌市)
- ・従業員数…184名
(2025年4月時点)
- ・事業内容…自動車・産業車輛・建設機械用ブレーキ関連製品および部品の研究開発・設計・製造・販売

まず、工場見学におじゃまします!

広大な敷地を有する結城工場には、全部で9棟の建物があります。そのうち5棟が工場機能を担っています。製品が一つひとつ丁寧に、そして効率的に作り上げられていく過程をご紹介します。紹介いただきました。

徹底した品質基準と現場力

結城工場では、重要保安部品メーカーとして求められる、高い品質管理体制が整備されています。社内外で製作した部品を、三次元測定機や画像検査装置を用いて形状や仕上が

りを細かく確認し、一定の基準を満たしたものが次の工程へ進む仕組みとなっています。さらに、組立・性能検査装置も自社で開発・設計し、工程設計段階から品質要求を組み込むことで、厳格な品質基準を確実に担保しています。



写真上: 部品の測定・検査を実施
写真下: 組立製品を全数検査!

多品種少量生産に対応した「省人化」「省力化」の生産ライン

ロボットを活用した省人化の試みを進めています。あらかじめ材料をストックカーにセットしておくことで、昼夜を問わず無人で生産できる体制を現在も構築中。また、生産指示に応じて必要な治具が自動で搬送され



写真上: 人の代わりに材料の供給と加工品の排出を実施(省人化)
写真下: 材料と治具を載せて自動搬送(省力化)

る設備を導入したことで、省力化にもつながり、段取りの時間が10分の1に短縮されました。これらの取り組みにより、生産性向上だけでなく、現場スタッフが、より高度な業務に集中できる環境づくりにもつながっています。

70年の知の蓄積
そして今回、坂森社長が70年かけて集められた「全車種」のデータを取集する書庫と、秘蔵コレクションが並ぶ特別な部屋を私たちにを見せてくださいました。整然と並ぶ膨大な資料の数々は、同社の歩みそのもの。積み重ねてきた時間と覚悟を静かに物語っていました。

では、ここからは質問形式で 深掘りしていきます!



写真左より
営業本部 関次長(海外営業担当)
花田課長(大阪支店)

●まず、貴社の強みを教えてください。営業力とアフターフォローの厚さです。営業が国内外を飛び回りながら、代理店様・部品商様・整備工場様・車両メーカー様の声を直接拾い上げ、製品改善や情報共有につなげていく。その姿勢が、「顔の見えるメーカー」としての信頼を築いてきました。また、アフターマーケット製品は、国産車全てをラインアップしているのも強みの一つです。

●ものづくりにおいて、最も大切にしていることは何でしょうか。実車の使用環境を把握し、いかなる条件下でも確実に性能を発揮できる設計を徹底。OEM製品においては、車両の開発段階から参画し、実車試験を重ねながら製品開発を行っています。

●SDGsに関して、現在取り組まれていることを教えてください。地域イベントである「まつり結城」へ出展し、その収益金全てを、結城市で障がいのある方の支援に携わっている皆様に寄付しました。さらに、従業員の心身の健康増進と働きがいの向上を目的に、社内部活動である「Miyaco Racing Club」の設立・運

営に取り組み、社内コミュニケーションの活性化を図っております。また、記憶に新しい大阪・関西万博期間中の渋滞緩和に向けた取り組み活動に参加し、交通集中による環境負荷低減にも間接的に貢献しました。その他、地域と連携しAED講習会や献血への協力など多岐にわたる活動に取り組んでおります。それらを通じて、人と社会に寄り添いながら安心して暮らせる社会づくりに貢献していきたいと考えています。



●目指す企業像を教えてください。

全方位(従業員、お客様、取引先様)での三位一体を実現させ、安全と品質を担保した企業でありたいです。自動車技術が変わっていく中で、変化に対応しながら、お客様に安全な製品をお届けたいと考えています。

●自動車業界の変化を、現場ではどのように感じていますか?

大きな転換期にあると思っております。その中で悩みながらも新しい価値や機会を見つけていけることに大きな魅力を感じています。

●自動運転や電動化が進む中で、これからのブレーキ専門メーカーに求められる役割は何だと思えますか?

自動運転が普及しても、最終的に安全を守るのは、確実に止まる力です。高度化するセンサーや制御システムに対して、瞬時かつ正確に回答できるブレーキ性能がこれまで以上に重要になります。その実現に向けて、当社では自社開発による技術強化を進めています。

●ぜひ、SPKの印象を教えてください。

業界大手でありながら、常に地に足の着いた実直な営業活動を貫かれ、確かな信頼と盤石な基盤を築いてこられた企業という印象です。現場を大切にしている姿勢は、当社がもっとも共感する点の一つです。

●SPKと今後取り組んでいきたいことはありますか?

新しいカテゴリー商品の共同開発をはじめ、販売促進の強化、さらには大型車市場や次世代車両向け商材

の拡販など、より幅広い領域での連携を進めていきたいと考えています。

●最後に「Miyaco」の好きなところを教えてください!

関次長: 製造と販売が一体となってブランドを築いている点です。部門間の距離が近く、同じ方向を向いて取り組めるところが魅力だと思います。

花田課長: 整備の現場に常に寄り添い、確かな安心を提供し続けている点です。



ミヤコ自動車
オリジナルキャラクター
上からブーツくん、
カップちゃん

この場をお借りして、取材にご協力いただきました、ミヤコ自動車工業株式会社の皆様に厚く御礼申し上げます。

動画でも
ご覧いただけます!



SPK公式
YouTubeチャンネル